

観点 1 知識・技能 2 思考・判断・表現 3 主体的に学習に取り組む態度

指導単元・月	観点	単元の評価基準（学習評価表）	具体的評価目標（おおむね満足 B）	評価方法・場面	弱点克服
集団行動 体づくり運動 4・5月	1	【知識】 ・体を動かす楽しさや心地良さを味わう。 ・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解する。 【技能】 ※体ほぐし運動 ・心と体との関係や心身の状態に気付く。仲間と積極的に関わり合う。 ※体の動きを高める運動 ・ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行う。それらを組み合わせる。	【知識】 ・体ほぐし運動ではねらいに応じた行い方。また、体の動きを高めるには、安全で合理的に高める行い方について理解している。 【技能】 ・大きくリズムカルに全身や各部位を振ったり、回したり、ねじったり、曲げ伸ばしたりすることができる。 ・大きな動作で、ボールなどの用具を、力を調整して投げたり受けたりすることができる。	・定期テスト ・観察 ・カード	・効果的な 視覚的教材の提示 ・効果的な 学習カードの提示
	2	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。	・自己の課題に応じた運動を選ぶことができる。	・観察 ・カード	・生徒自らが気付ける 発問の工夫
	3	・体づくり運動に積極的に取り組む。 ・仲間の学習を支援しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた動きを認めようとする。 ・話し合いに参加しようとする。 ・健康・安全に気を配る。	・活動や話し合いに積極的に参加している。 ・仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。	・観察 ・カード	・話し合いの補助発問の工夫
陸上競技 4・5・10・11月	1	【知識】 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。 ・陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関して高まる体力などを理解する。 【技能】 ・短距離走では、滑らかな動きで速く走る。	【知識】 ・陸上競技の各種目において用いられる技術の名称があり、それぞれの技術で動きのポイントがあることを理解している。 【技能】 ・短距離走では自己に合ったピッチとストライド	・定期テスト ・カード ・スキルテスト ・タイム計測 ・距離計測	・ICT 機器の活用 ・グループ作りの工夫

		<ul style="list-style-type: none"> ・リレーでは、バトンの受け渡してタイミングを合わせる。 ・長距離走では、ペースを守って走る。 ・ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを越す。 ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶ。 ・走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切って跳ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> で速く走ることができる。 ・長距離走では腕に余分な力を入れなくて、リラックスして走ることができる。 ・ハードル走ではインターバルを3又は5歩でリズムカルに走ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像チェック 	
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提供された練習方法から、自己の課題に応じて、動きの習得に適した練習方法を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カード 	
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技に積極的に取り組む。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・1人1人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする。 ・健康・安全に気を配る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。 ・1人1人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な視覚的教材の提示
水泳 7・9月	1	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。 ・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関して高まる体力などを理解する。 <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロールでは手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐ。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐ。 ・背泳ぎでは手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐ。 ・バタフライでは手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐ。 	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳の各種目において用いられる技術の名称や運動局面の名称があり、それぞれの技術や局面で、動きを高めるための技術的なポイントがあることを理解している。 <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロールでは一定のリズムで強いキックを打ち、水中でひじを曲げて腕全体で水をキャッチし、S字やI字を描くようにして水をかくことができる。 ・平泳ぎでは蹴り終わりで長く伸びるキックができ、肩より前で、逆ハート型を描くように水をかくことができる。 ・背泳ぎでは、両手を頭上で組んで、腰が「く」の字に曲がらないように背中を伸ばし、水平に浮いてキックすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・カード ・スキルテスト ・タイム計測 ・距離計測 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードの提示 ・生徒自らが気付ける発問の工夫 ・話合いの補助発問の工夫 ・ICT機器の活用 ・グループ作りの工夫

			<p>きる。また、水中では、肘が肩の横で60～90度程度曲がるようにしてかくことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートの合図と同時に顔を水中に沈め、抵抗の少ない流線型の姿勢をとって壁を蹴り泳ぎ出すことができる。 		
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提供された練習方法から、自己の課題に応じて、泳法の習得に適した練習方法を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カード 	
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳に積極的に取り組む。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・1人1人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする。 ・水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。 ・1人1人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・水の安全に関する事故防止心得を守るなど、健康・安全に気を付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な視覚的教材の提示
<p>球技</p> <p>5・6・7・1・3月</p> <p>オリ・パラ教育</p>	1	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わう。 ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解する。 <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をする。 ・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。 ・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防する。 	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを理解している。 <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール方向に守備者がいない位置でシュートできる。 ・味方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。 ・ボールの正面に回り込んで、緩い打球を捕ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・カード ・スキルテスト ・ゲーム映像チェック ・定期テスト ・カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な学習カードの提示 ・生徒自らが気付ける発問の工夫 ・話合いの補助発問の工夫 ・ICT機器の活用
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ作りの工夫

	3	<ul style="list-style-type: none"> ・球技の学習に積極的に取り組む。 ・フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などについての話し合いに参加しようとする。 ・1人1人の違いに応じたプレイなどを認めようとする。 ・仲間の学習を支援しようとしている。 ・健康・安全に気を配る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などについての話し合いに参加している。 ・安全に気を付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カード 	
武道（柔道） 12月 オリ・パラ教育	1	【知識】 <ul style="list-style-type: none"> ・技ができる楽しさや喜びを味わう。 ・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解する。 【技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をする。 	【知識】 <ul style="list-style-type: none"> ・武道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることを理解している。 【技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢と組み方では、相手の動きに応じやすい自然体で組むことができる。 ・後ろ・横受け身では、正しい体の動かし方を習得することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・カード ・スキルテスト ・映像チェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な視覚的教材の提示
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提供された練習方法から、自己の課題に応じた練習方法を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な学習カードの提示
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動に積極的に取り組む。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとする。 ・分担した役割を果たそうとする。 ・1人1人の違いに応じた課題や朝練を認めようとする。 ・禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。 ・用具等の準備や後片付け、審判などの分担した役割を果たそうとしている。 ・禁じ技を用いないなど、健康・安全に気を付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自らが気付ける発問の工夫 ・話し合いの補助発問の工夫
ダンス	1	【知識】 <ul style="list-style-type: none"> ・感じを込めて踊ったり、みんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わう。 ・ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解する。 	【知識】 <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスは、様々な文化の影響を受け発展してきた。 またそれぞれのダンスには、表現の違いがあることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・カード ・発表会映像チェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の活用 ・グループ作りの工夫

2・3月		<p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせて、リズムに乗って全身で踊る。 ・多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化をつけて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊る。 	<p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動きを誇張したり、繰り返したり、動きに変化をつけたりして、ひと流れの動きで表現できる。 ・自然な弾みやスイングなどの動きで気持ちよく音楽ビートに乗れるように、簡単な繰り返しのリズムで踊ることができる。 		夫
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提供されテーマや表現の仕方から、自己やグループの課題に応じた練習方法を選んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カード 	
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスに積極的に取り組む。 ・仲間の学習を支援し、交流などの話合いに参加しようとする。 ・1人1人の違いに応じた表現や役割を認めようとする。 ・健康・安全に気を配る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に積極的に取り組んでいる。 ・作品創作などについての話合いに参加している。 ・1人1人の違いに応じた表現や交流の仕方などを認めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カード 	
9・10月	1	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技ができる楽しさや喜びを味わう。 ・器械運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関して高まる体力などを理解する。 <p>【技能】</p> <p>※マット運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行う。 ・条件を変えた技や発展技を行う。それらを組み合わせる。 <p>※跳び箱運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行う。 ・条件を変えた技や発展技を行う。 	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技ができる楽しさや喜びの味わい方、また器械運動の成り立ちを理解している。 <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回転系や巧技系の基本的な技の一連の動きを滑らかにして回ったり、回転したり、静止したりできる。 ・学習した基本的な技、条件を変えた技、発展技の中から、いくつかの技を組み合わせる行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・カード ・スキルテスト ・連続技映像チェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な視覚的教材の提示 ・効果的な学習カードの提示 ・生徒自らが気付ける発問の工夫
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提供された練習方法から、自己の課題に応じて、技の習得に適した活動の仕方を見つけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・話合いの補助発問の工夫

	3	<ul style="list-style-type: none"> ・器械運動に積極的に取り組む。 ・良い演技を認めようとする。 ・仲間の学習を支援しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする。 ・健康・安全に気を配る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい技や演技に称賛の声をかけるなど、仲間の努力を認めようとしている。 ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器の活用 ・グループ作りの工夫
体育理論 運動やスポーツの 多様性 4・9・1月	1	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツが多様であることについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツが多様であることについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・カード 	
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題を見つけ、よりよい解決に向けて試行し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カード 	
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に積極的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カード 	
保健 健康な生活と 疾病の予防 心身の機能の 発達と心の健康 5・6・9・1 0・11・1 2・1・2月	1	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。 ・心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、ストレスへの対処について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・カード 	
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防について、また心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の機能の発達と心の健康における事柄や情報などについて、保健に関わる原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察、 ・カード 	
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防について、また心身の機能の発達と心の健康について、資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に意欲的に取り組んでいる。 ・自分の生活を振り返ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カード 	